

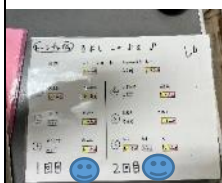
教材教員および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
<p style="text-align: center;">きよしこの夜</p> <p style="text-align: center;">～合唱&トーンチャイム&鉄琴～</p>	高	音楽 Ⅱグループ (音楽)	多田祥一郎

<ねらい>

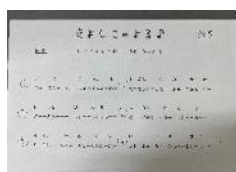
- ・周りの音を聴きながら、歌ったり楽器を奏でることができる。
- ・合唱や合奏の面白さを感じる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・主旋律のみで歌われている歌詞付きの動画を鑑賞し、『きよしこの夜』を知る。
- ・歌詞とトーンチャイムの音がかかれた動画を見ながら、教員によるトーンチャイムの模範演奏を聴き、トーンチャイムの演奏をイメージする。
- ・担当の音を決め（鉄琴担当を含む）、音源に合わせてトーンチャイムの練習をする。
- ・歌詞カードをテレビで表示したものを教師が指さしながら、音源を聴く。
- ・歌詞カードを一人一つ持ち、音源に合わせて歌の練習をする。
- ・トーンチャイム、鉄琴、歌を一緒に練習する。
- ・発表を見合い、聴いている生徒は演奏終了時に拍手を行う。



トーンチャイム楽譜



鉄琴楽譜



歌詞カード



トーンチャイム動画

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・五線譜の楽譜を用いず、ひらがなで音名を示すことで、すべての生徒が音をスムーズに把握することができた。
- ・音源を聴く機会を多く設定することで、言葉のタイミングや音程などを音から理解することができた。
- ・感染症対策のため同時に歌える人数が限られており、歌も楽器もしていない生徒を作らざるをえなかった。小物楽器などで人数調整をする方法もあった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・iPad・HDMI変換アダプタ・Bluetoothスピーカー・トーンチャイム・鉄琴
- ・大型テレビ